

私たちは誰なのか。

特別展

# WHO ARE WE

## 観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類

And What Can We Learn From Observation?

Collection of the National Museum of Nature and Science, Tokyo

Vol.01 Mammals

2026年10月3日(土) — 11月23日(月祝)

愛媛県総合科学博物館 企画展示室

Ehime Prefectural Science Museum

開館時間 — 9:00 — 17:30 (入館は17:00 まで)

観覧料 (特別展のみ) — 大人 (高校生以上) 400円・小中学生200円

(特別展+常設展) — 大人 (高校生以上) 700円・小中学生200円

問い合わせ — TEL 0897-40-4100

※10月6日(火)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、11月4日(水)、9日(月)、16日(月)休館。

主催 — 愛媛県総合科学博物館・国立科学博物館

後援 — 愛媛県市町教育委員会連合会、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、

テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、今治CATV、

ハートネットワーク、株式会社四国中央テレビ、FM愛媛(順不同)

企画編集・デザイン — 日本デザインセンター 三澤デザイン研究室

写真 — Gottingham



サバンナの動物に目と鼻の先で向き合い、  
数億年前に絶滅した遠い祖先を見つめ、  
南半球と北半球の動物をすぐそばで比較する。  
距離を、時間を、種をこえる多様な剥製。  
展示台の引き出しに収められているのは、  
これまでとは違う角度から  
世界を見るための視点の標本。  
開けるたびに増えていく新しい見方、  
少しずつ引き出されてくる好奇心。  
ふたたび剥製に目を向けると、  
それまでとは異なる姿に見えてくる。  
気づかなかった不思議に気づき、  
わかった気になっていたことが、  
わからなくなることも。  
そして静かに浮かびあがってくる問い。  
哺乳類とは、ヒトとは何か。  
私たちは誰なのか。  
剥製を見ていたはずなのに、  
いつの間にか世界を見ている。自分を見ている。  
それは、目の前の出来事と  
地球の出来事がつながりはじめるとき。  
声なき剥製だから伝えることができる生物学。

愛媛県総合科学博物館ホームページ  
<https://www.i-kahaku.jp/>



本展公式サイトはこちらから



## 講演会

### “恐竜時代”の小さなケモノたち



講師

楠橋 直 氏

(愛媛大学准教授、地質学・古生物学)

◀ 白亜紀の哺乳類(多丘歯類)の歯  
産地: 鹿児島県  
標本所蔵: 臨ミュージアム

中生代の哺乳類は、恐竜の陰に隠れて目立つ存在ではなかったものの、  
着実に進化し、多様化していました。本講演では、化石が解き明かす  
「哺乳類の起源と初期進化」について、標本の観察も交えながら紐解い  
ていきます。

日時 — 令和8年10月3日(土) 13:30 — 15:00(開場13:00)

会場 — 第1研修室 定員 — 50名(先着順)

対象 — 小学生以上 参加費 — 無料(要特別展チケット)

## ワークショップ

### 動物バッグ

トートバッグやサコッシュに、当館限  
定の動物柄をシルクスクリーンで印  
刷して作ります。

令和8年

10月3日(土) — 11月3日(火祝)の土日祝

10:00 — 11:30/13:30 — 15:00

会場 — エントランスホール

参加費 — 1,000円 定員 — 各回10名



### しっぽブローチ

フェイクファーの生地を使って、ふわ  
ふわのブローチを作ります。

令和8年

10月3日(土) — 11月23日(月祝)の土日祝

10:00 — 11:30/13:30 — 15:00

会場 — エントランスホール

参加費 — 400円 定員 — 各回20名

